

2019年2月15日

## 2018年度日本フードシステム学会特別研究会のお誘い

拝啓

師走の候 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2019年3月9日に日本フードシステム学会特別研究会「**行動経済学的実験手法によるフードシステム研究の論点と展望**」を企画いたしました。この特別研究会は、フードシステムに関心のある研究者間の活発な議論を通じて、お互いの興味や知見を共有し、フードシステム研究に対する理解を深めることを目的としています。

昨年度の特別研究会では、食料消費研究に関する世界的な研究動向の把握と最新の研究手法の報告をもとに、今後どのような食料消費研究が可能となるのか、新たな研究のシーズとその研究可能性について検討いたしました。昨年度の特別研究会の趣旨を継承しつつ、今年度は経済学の近年の潮流である行動経済学的実験手法に着目して、3名の気鋭の若手研究者に自身のこれまでの研究をご紹介いただき、フードシステム研究において行動経済学的な実験手法を用いた分析を行うための論点と展望を整理します。また、総合ディスカッションでは、参加者全体で議論を積み重ね、新たな視点への気づきが生まれるような会にしたいと考えております。

年度末のご多忙な時期とは存じますが、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

敬具

### 1. 日時・場所

日時：2019年3月9日（土）13時～17時

場所：東京大学弥生講堂アネックスエンゼル講義室

<https://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>

### 2. 概要

テーマ：行動経済学的実験手法によるフードシステム研究の論点と展望

(1) コーディネーター解題：行動経済学とマーケティング（13時～13時30分）

報告者：中嶋晋作（明治大学）

(2) 報告：

①認識と情報と食品消費行動—限定合理性からの考察—（13時30分～14時30分）

報告者：下川哲（早稲田大学）

②倫理的消費と社会的選好（14時45分～15時45分）

報告者：後藤潤（神戸大学）・松井隆宏（東京海洋大学）

(3) 総合ディスカッション（16時～17時）

### 3. 参加資格と募集方法

- 参加資格は日本フードシステム学会会員、会員の推薦する学生、また当該テーマの研究にこれから取り組もうと考えている研究者
- 応募人数25名
- 参加費無料
- 参加者は3月2日（土）までに所属・氏名（非会員の場合は推薦者名）・特別研究会に関連する関心のある研究テーマを記載した申し込みメールを（[anakajim@meiji.ac.jp](mailto:anakajim@meiji.ac.jp)）までお送り下さい。

### 4. 問い合わせ先

日本フードシステム学会企画委員会担当 明治大学農学部 中嶋晋作

E-mail : [anakajim@meiji.ac.jp](mailto:anakajim@meiji.ac.jp)